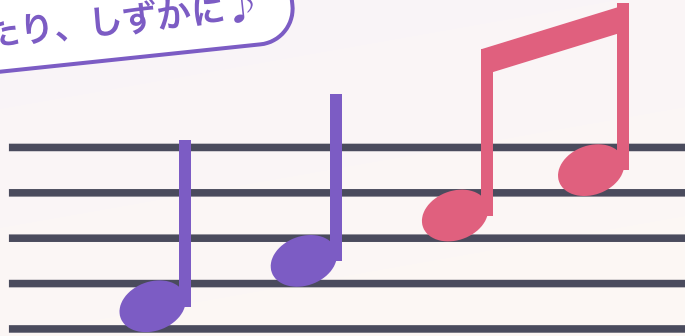


ゆったり、しずかに♪



時間の流れ方がちがう...!

雅楽

千年をこえて伝わる、宮廷の音楽



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましょ

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まりま

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

雅楽を知る	3～6
楽器を知る	7～11
雅楽を味わう	12～15
雅楽の場	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

雅楽ってなに？

雅楽は、日本にとっても古くから伝わる音楽です。

雅楽（ががく）は、日本にとっても古くから伝わる、**宮廷（きゅうてい）の音楽**です。

笙（しょう）や箏（ひちりき）、龍笛（りゅうてき）などの楽器が合奏し、ゆったりとした時間の流れる、独特の響きを生み出します。



雅楽が聴こえる場面

結婚式

神社のお祭り

お正月のテレビ番組

皇室の儀式

演奏会

特別な場面や、おごそかな場面でよく演奏されます。

ポイント

- 雅楽は、日本でもっとも古くから伝わる音楽のひとつです。
- いくつもの楽器と一緒に演奏する、合奏の音楽です。
- 現在も、宮中の儀式や神社の祭りなどで演奏され続けています。

やってみよう

1. 「雅楽」という言葉を聞いたことがあれば、どんな場面だったか書こう。

2. 「雅楽」という漢字を、指でなぞって書いてみよう。

ワンポイント 「ががく」と読みます。「雅」という字には「みやびやか」という意味があります。

書いて覚えよう

雅楽の歴史

雅楽は、海外の音楽と日本の音楽が合わさって生まれました。

ポイント

- 雅楽の一部は、大陸（中国や朝鮮半島）から伝わった音楽がもとになっています。
- 奈良時代から平安時代にかけて、日本古来の音楽と合わさり、独自の形に整えられていきました。
- そこから千年以上、宮中を中心に大切に受けつがれてきました。

やってみよう

1. 千年以上前から続く物を、他に知っていたら書こう。

ワンポイント 世界的に見ても、これほど古い時代から続くオーケストラ音楽は、とてもめずらしいといわれています。

書いて覚えよう

管絃は、楽器だけで演奏する雅楽です。

かんげん

舞や歌をともなわない、楽器だけの雅楽の演奏

ポイント

- 管絃は、踊りや歌をとまわず、楽器だけで演奏する雅楽です。
- 管楽器・弦楽器・打楽器が組み合わさって、独特の響きをつくります。
- 雅楽の中でも、もっともよく演奏される形のひとつです。

やってみよう

1. 「楽器だけの演奏」を、他のジャンルの音楽でも思い浮かべてみよう。

書いて覚えよう

舞楽・歌物

雅楽には、舞をともなうものや、歌をともなうものもあります。

舞樂

衣装をまとった舞い手が、雅楽の演奏
に合わせて舞う形

歌物

詩や歌に節をつけて歌う、雅楽の中の
歌のジャンル

ポイント

- 舞楽（ぶがく）は、舞い手が音楽に合わせて舞を見せる形式です。
- 歌物（うたもの）は、和歌などの詩に節をつけて歌う形式です。
- 同じ雅楽でも、演奏だけ・舞つき・歌つきと、いろいろな形があります。

やってみよう

1. 「演奏だけ」「舞つき」「歌つき」、それぞれどんな印象を持ちますか。

書いて覚えよう

笙

笙は、和音を鳴らせる、めずらしい楽器です。

笙

しょう

竹の管を円形に並べ、いくつもの音を同時に鳴らせる楽器

ポイント

- 笙は、17本の細い竹の管を、円形に並べてつくられています。
- いくつかの管を同時に鳴らして、和音（合竹）を出すことができます。
- 空に差しこむ光をイメージした音色、といわれることがあります。

やってみよう

1. いくつかの音を同時に鳴らす楽器を、他に知っていたら書こう。

書いて覚えよう

箏箨（ひちりき）

箏箨は、小さくても力強い音を出す楽器です。

箏箨

ひちりき

小さな竹の管に、リードをつけて吹く楽器

ポイント

- 箏箨は、小さな竹の管に、2枚のリードをつけて吹く楽器です。
- 見た目は小さいですが、力強く、よく通る音を出します。
- 雅楽の合奏の中で、主となるメロディを受け持つことが多い楽器です。

やってみよう

1. 「小さいのに力強い」という組み合わせを、他に知っていたら書こう。

書いて覚えよう

龍笛（りゅうてき）

龍笛は、竜の声にたとえられる横笛です。

龍笛

りゅうてき

雅楽で使われる、竹でできた横笛

ポイント

- 龍笛は、雅楽の合奏で使われる、竹でできた横笛です。
- 天と地のあいだを行き交う竜の声に見立てられることがあります。
- 笙・箏とともに、雅楽の管楽器の中心となる楽器です。

やってみよう

1. 「竜の声」と聞いて、どんな音を思い浮かべますか。

書いて覚えよう

打楽器は、演奏の速さや合図を決めます。

大きな太鼓。曲の区切りに大きく打たれる

小さな太鼓。2本の細いばちで演奏をリードする

ポイント

- 楽太鼓は、大きな音で、曲の区切りを示す役割を持ちます。
- 鞆鼓は、小さな太鼓で、演奏の始まりや速さの合図を出す役割を持ちます。
- 打楽器が、合奏全体のまとまりを支えています。

やってみよう

1. 合図を出す役割を持つ楽器を、他に知っていたら書こう。

書いて覚えよう

琵琶と箏

弦楽器は、リズムに彩りをそえます。

樂琵琶

がくびわ

雅樂で使われる、大きな琵琶

樂箏

がくそう

雅楽で使われる、13本の弦を持つ箏

ポイント

- 雅楽で使われる琵琶と箏は、それぞれ「楽琵琶」「楽箏」とよばれます。
- メロディを大きく歌うというより、リズムに合わせて音を差しこむような役割です。
- 管楽器の音の間に、彩りをそえるように響きます。

やってみよう

1. 「彩りをそえる」楽器の役割を、料理の味つけにたとえて書いてみよう。

書いて覚えよう

雅楽の音階

雅楽には、独自の音の並びがあります。

ポイント

- 雅楽には、ドレミの音階とはちがう、独自の音の並び（音階）があります。
- 曲によって使われる音階の型が決まっており、それぞれに名前がついています。
- 初めて聴くと、ふしぎな響きに感じるかもしれません。

やってみよう

1. 「ふしぎな響き」を聴いたとき、あなたはどんな気持ちになりますか。

書いて覚えよう

- 雅楽の多くは、とてもゆっくりとしたテンポで演奏されます。
- 音と音の間（ま）を大切に、せかせかしない、ゆったりとした時間が流れます。
- この独特の時間の感覚が、雅楽ならではの魅力になっています。

1. 30秒間、何もせずにゆっくり過ごしてみよう。どんな感じがしましたか。

ワンポイント 現代の音楽の多くはテンポが速く感じられるほど、雅楽の時間はゆったりしています。

13

越天楽を聴く

「越天楽」は、雅楽でもっとも知られる曲です。

越天樂

えてんらく

雅楽の中でも、もっともよく知られている代表曲

ポイント

- 「越天楽（えてんらく）」は、雅楽の代表曲として広く知られています。
- 楽器だけの演奏のほか、歌詞をつけて歌う形でも親しまれてきました。
- 初めて雅楽を聴く人が、最初に出会うことの多い曲のひとつです。

やってみよう

1. 機会があれば「越天楽」を聴いて、感じたことを書いてみよう。

書いて覚えよう

- 雅楽の演奏者や舞い手は、装束（しょうぞく）とよばれる特別な衣装を身につけます。
- 舞楽では、舞う曲によって、色や形のちがう装束や面（めん）が使われます。
- 衣装そのものも、雅楽の伝統を伝える大切な文化のひとつです。

1. 特別な行事のための衣装を、他に知っていたら書こう。

[illegible]

- 雅楽は、長い間、宮中（皇室）の儀式の中で演奏され続けてきました。
- 演奏する技は、家から家へと大切に受けつがれてきました。
- 現在も、宮内庁の専門の部署によって、演奏が続けられています。

1. 長い間、家から家へ受けつがれてきた技を、他に知っていたら書こう。

神社の雅楽

雅楽は、神社のお祭りでも演奏されます。

Emma

神社のお祭りで、笛や太鼓の音が聞こえたことがあるよ。



Ken

あれも雅楽の仲間かもしれないね。おごそかな感じがするよね。

ポイント

- 雅楽は、宮中だけでなく、各地の神社でも演奏されています。
- お祭りや儀式の中で、雅楽の合奏が奉納されることがあります。
- 地域の神社に、独自の雅楽の会が伝わっていることもあります。

やってみよう

1. 近くの神社で、雅楽のような音楽が演奏されているか調べてみよう。

書いて覚えよう

雅楽は、世界的にも貴重な音楽です。

- 雅楽のもとになった音楽は、かつて中国や朝鮮半島の宮廷にもありました。
- 国によって、その後の音楽の発展はそれぞれちがう道をたどりました。
- 雅楽は、コンサートホールや神社、動画などで聴くことができます。

1. 雅楽を聴ける場所や方法を、思いっただけ書いてみよう。

雅楽の魅力

雅楽には、千年をこえて伝わる魅力があります。

ポイント

- 千年以上前から、形を大きく変えずに伝えられてきた音楽です。
- せかされないゆったりとした時間や、独特の音の重なりが魅力です。
- 聴くたびに、遠い昔の宮廷の空気を感じることができます。

やってみよう

1. 雅楽のどんなところに魅力を感じますか。

ワンポイント 急いでいるときこそ、雅楽のゆったりとした時間にふれてみると、新しい発見があるかもしれません。

書いて覚えよう

20

ゆったりとした間を、体で感じてみよう。

- 書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

楽器の名前が覚えにくい

聞きなれない名前が多い

テンポが遅く感じにくい

ふだんの音楽とちがう

音階がふしぎに感じる

ドレミとちがう並び

コツ

こうしてみよう

絵や写真とセットで覚える

見た目の特徴をつかむ

何度も聴いて慣れる

耳が少しずつ慣れてくる

「越天楽」から入る

代表曲を先に知る

ポイント

- 最初は不思議に感じてても、聴くほどに雅楽らしさが分かってきます。

やってみよう

1. あなたがいちばん不思議に感じたのはどれですか。 _____
2. 上のコツから1つえらんで試してみよう。

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

演奏の形

☐ 管絃

楽器だけの演奏

☐ 舞楽

舞をともなう演奏

☐ 歌物

歌をともなう演奏

管楽器

☐ 笙

和音を鳴らせる楽器

☐ 箏

小さく力強い音の楽器

☐ 龍笛

竜の声にたとえられる横笛

打楽器・弦楽器

☐ 楽太鼓

区切りを示す大きな太鼓

☐ 鞆鼓

合図を出す小さな太鼓

☐ 楽琵琶・楽箏

彩りをそえる弦楽器

代表曲・場所

☐ 越天楽

雅楽の代表曲

☐ 宮中

皇室の儀式の場

☐ 神社

お祭りで演奏される場

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。

書いて覚えよう

書いて覚えよう

「越天楽」を探して聴く

雅楽の楽器の写真を見て名前を確認する

ゆっくりした動きで、間を意識してみ
る

近くの神社の雅楽を調べる

家族に雅楽を知っているか聞いてみる

雅楽ノートに気づいたことを書く

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

発表してみよう・感想を書こう

気になった楽器や曲を、人に伝えてみよう。

気になった楽器・
曲

音色の感じ

感じた時間の流れ

伝えたい人

Ken の例

気になった曲 越天楽／音色の感じ ふしぎで、少し眠くなるような響き／感じた時間の流れ とても
ゆっくり／伝えたい人 家族

感想を3文で書こう

① 雅楽の音は、～な感じがしました。② とくに、～のところが印象に残りました。③ それは、～
だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

雅楽の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

図書館で

雅楽の本や写真集を探す

演奏会へ

雅楽の演奏会に行く

動画で

舞楽の舞を見る

次のステップ

箏

雅楽でも使われる弦楽器

尺八・篠笛

和楽器の管楽器のなかま

民謡

庶民に伝わる日本の歌

ポイント

- この教材の次は、日本各地に伝わる民謡について学んでいきます。

書いて覚えよう

雅楽チャレンジ

教室の外でも、雅楽の音にはすぐ出会えます。

見つけよう

雅楽の音が流れている場所や映像を探
す

聴こう

「越天楽」を1曲最後まで聴く

言おう

笙・箏・龍笛の名前を声に出して言
う

こたえ

L26 笙→オ 箏→ウ 龍笛→イ 越天楽→ア 管絃→エ 2. 笙 / 鞆鼓

L33 (例) 千年以上前から続く、宮廷で演奏されてきた日本の合奏音楽。

書いて覚えよう

雅楽 (Season 7 | No.67)

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。